

新しい『広報ながしま』始まる

4月号を機に変わる『広報ながしま』。

今号では、担当職員(企画財政課)の田上と、地域おこし協力隊でデザイナーの江副さんが対談形式で新しい『広報ながしま』を語ります。

「広報ながしま」
リニューアル記念
特別対談企画！

田上 役場の企画財政課広報統計係として3年目を迎えました、田上徹(たがみ・とおる)です。

江副 今年の1月から地域おこし協力隊として『広報ながしま』の制作に新しく加わりました、グラフィックデザイナーの江副佑輔(えぞえ・ゆうすけ)です。今回の特別対談、よろしくお願ひします。

田上 よろしくお願ひします。こういって対談は初めてでして。自己紹介も兼ねて、あらためて江副さんにお聞きしたいことがあります。なぜ、江副さんは協力隊として『広報ながしま』に携わろうと思ったのですか？

江副 きっかけは友人のパートナーでもあり、同じ協力隊の益田さんからの推薦でした。長島町の広報紙制作で協力隊を探しているとき、転職活動をしていた時期もあつて、ぜひ挑戦してみたいと思いました。前職では不特定多数に向けた広告を制作していたこともあり、人口が約1万人の長島町では伝える相手の顔が見える広報紙に魅力を感じて協力隊に志願しました。

田上 志願していただき、ありがとうございます。今まで長島町の広報紙は職員1人で制作してきました。心強い仲間ができてきました。

江副 専門的なデザインの知識や広報紙制作のノウハウが未経験でのスタートはさぞ大変だったと思います。ではズバリ、新しく変わっていく『広報ながしま』を、田上さんはどんな広報紙にしていきたいですか？

田上 これまでは役場から町民に向けてのお知らせが多かったところを、町民と一緒に作っていくような『広報ながしま』に変えていきたいと思っています。

江副 「町民と一緒に作る広報紙」ということは、新しく始めていく読者「コーナーや新規の企画も増えていくのでしょうか？」

田上 そうですね。地域活動に貢献している町民や町外で活躍する町出身者などを紹介する記事や、町が抱えるさまざまな問題を考え直すきっかけとなる企画記事を考えています。

江副 役場と町民をつなぐ広報紙でありつつ、広報紙だからこその企画は面白そうですね。紙面デザインのリニューアルだけではなく、中身の部分でも変わっていくお手伝いができれば

嬉しいです。

江副 長島町の広報紙の現状は課題が多いと聞きました。紙面のデザインはもちろんですけど、制作過程や制作体制の点で、職員1人が担当していると聞き、なおさらに役立ちたいと思ったのも志願の理由です。

田上 今後の誌面デザインに期待しています。江副 期待に応えていきます。早速なのですが、今回の広報紙リニューアルでは、新しく変えていきたいことがあります。田上 それはどのようなものでしょうか？

江副 まずは専門的にデザインの仕事をしてきたから、分かりやすさや見やすさ、美しさの水準をさらに高めた紙面にしたいと思いました。具体的に1つ挙げるなら書体です。これまでの書体は「小塚(こづか)フォント」と呼ばれるものですが、今後は「UDフォント」と呼ばれるユニバーサルデザインを意識した文字を主に使用していきます。

田上 「UDフォント」を使用することで、子どもからお年寄りまで、より文字が読みやすくなるのが期待できそうですね。

江副 老若男女問わずの読み物である広報紙は、凝ったもの・個性的なものよりも「普遍的で、すべての人のために」という点が大切だと思いました。今後の『広報ながしま』は、そういった誰にとっても分かる、分かりやすさを意識したデザインを取り入れて

ば私も嬉しいです。最後に、3年目を迎える田上さんは編集長として、どんな気持ちでこれからの『広報ながしま』に取り組んでいきたいですか？

田上 町民から毎月の発行を楽しみにされる広報誌になってほしいと思います。「1人体制になり、取材にかけられる時間が増えたので、より多くの声を広報紙に反映させていきたいです。町民の皆さんが長島について考える、長島のことをもっと好きになるような『広報ながしま』を目指していきます。

江副 編集長らしさが伝わる意気込みが聞けて、気が引き締まる思いです。このたびは特別対談、ありがとうございました。

担当職員・田上のある日のスケジュール公開

- 8:15 出勤・始業
- 8:30 メール整理
 広報紙以外の業務整理
 広報紙の制作
- 10:00 移動(役場から出水市)
- 11:00 他業務打ち合わせ
- 12:00 昼食
- 12:30 移動(役場に戻り)
- 13:30 広報紙以外の業務
 広報紙の打ち合わせ
- 14:30 広報紙の制作
- 16:00 辞任式出席
 広報紙以外の業務
- 17:00 広報紙の制作
- 22:00 退勤・終業

※1 デザインソフトで知られるAdobe製品に標準搭載されている大衆的で親しみやすい書体のこと。

※2 「文字のかたちが分かりやすい」「文章が読みやすい・読み間違えにくい」を指した書体のこと。文字の美しさにも配慮されています。

※3 障がいの有無に関係なく、すべての人が使いやすいように製品や建物環境などをデザインすること。

※4 紙面の間違いなどを直し、印刷しても差し支えない状態になること。

地域おこし協力隊
グラフィックデザイナー
江副 佑輔(えぞえ・ゆうすけ)



役場
企画財政課広報統計係
田上 徹(たがみ・とおる)

